



佐賀県東部にあった対馬藩の特産品は薬

現在の基山町と鳥栖市田代町を中心とする地域は、1599(慶長4)年に対馬藩の所領となりました。江戸時代になると日本と朝鮮の国交回復に尽力した功績によりさらに石高が増加しました。

この地の特産品は、対馬藩が輸入する朝鮮人参を主な原料とする薬でした。一時、農業がおろそかになるとして売薬が禁止となりましたが、1788(天明8)年には許可証が与えられ、業者は領外にまで行商に出ていました。薬の販路は南九州を除く九州全域となり、越中富山の薬売りと競い合ったといわれます。